

## 第2回日本風景街道「紀伊半島三県交流会」の結果（報告書）

日時：平成21年3月1日（日）13:30～16:50

場所：那智勝浦町体育文化会館 大集会室  
（和歌山県那智勝浦町天満 441-8）

参加者：三県の風景街道5ルートから74名  
・活動団体28団体、45名  
・行政団体13団体、29名

### 参加ルート

日本風景街道伊勢熊野みち  
日本文化のクロスロード  
日本風景街道伊勢街道  
日本風景街道まほろば  
日本風景街道熊野

### 概要：

当交流会は、昨年度から①日本風景街道の取組がさらに活発になること、②取組のヒントを発見すること、③活動団体間のつながりをつくることを目的に開催され、活発な意見交換や交流が行われました。参加者からは、「県域を越えた有意義な交流会であった」「次回は時間をかけて交流したい」「今後も継続的に開催してほしい」等の意見が寄せられ、活動団体にとって有意義な交流の時間となりました。

### 内容：

#### 13:30 開会

主催者(日本風景街熊野会長 古守氏)挨拶

昨年は道路特定財源の問題があり、少し風景街道の取組が若干低下気味になっているが、こういうときこそチャンスとして捉えていければいいと思っている。

日本風景街道の活動を継続していくことは簡単ではないが、同じ思いを持った人たちが集まり、議論することにより解決の糸口が見えたりする場合がある。今日の出会いを今後の取組に生かせるようにできればと考える。



#### 13:40 ルート紹介、活動報告

##### ○日本風景街道伊勢熊野みち

- ・ルート紹介（東紀州観光まちづくり公社 室谷氏）

熊野古道「伊勢路」を主体に、訪れる人と迎える地域が豊かな交流を通じて、もてなしの心を感じて頂ける空間作りを目指している。

- ・活動報告（熊野川体感塾 谷上氏）

世界でただ一つの川の世界遺産である熊野川を活用した川舟三反帆をメインブランドとして、熊野川の景観、歴史、川舟文化を全国発信し、観光客の誘致を図っている。メディアにも取り上げられ認知度も徐々に上昇している。



##### ○日本文化のクロスロード(NPO法人八木まちづくりネットワーク 河合氏)

- ・ルート紹介

藤原京から難波の宮に至る東西の古道「横大路」と藤原京から平城京を結ぶ「下ツ道」がクロスする地点が活動エリアで、この古代からの道を生かしたまちづくりをしている。

- ・活動報告

これまで、旅籠調査およびその報告書の作成、町の案内看板の作成を行ったところであるが、今年度は町並み案内板を作成する予定である。

##### ○日本風景街道伊勢街道(紀伊半島交流会議伊勢街道分科会 裏氏)

- ・ルート紹介

初瀬街道、伊勢本街道の二ルート（R165、R369、R368、R166）を活動エリアとし、歴史風土にふさわしいみちづくり、まちづくり、交流促進に力を入れている。



・活動報告

昨年、第1回伊勢街道交流フォーラムを開催し、講演やリレーフォーラムを行った。また、人標（ひとしるべ）のプレートを玄関に掲げて地域の情報や休憩場所の提供していただく街道サポーターの募集に取り組んでいる。3月8日に第2回交流フォーラムを三重県松阪市で開催する。

○日本風景街道まほろば(三輪座 中尾氏)・ルート紹介

「山の辺の道」、国道169号につながる奈良市から天理、桜井、飛鳥に向け、一部橿原を含んだ地域を活動エリアとし、風景、歴史、自然などいろいろな要素をもった道で、美しい景観形成、観光振興、コミュニティ形成など幅広い効果を期待して活動をしている。



・活動報告

都が移っていった時代の流れが感じられるよう、桜井、飛鳥京、藤原京、平城京の順に、約50キロを1年間、10回に分けて歩いた。歩いたあと、ワークショップ形式で、みんなで意見を出し合い、それを整理し、次年度の活動につなげている。

○日本風景街道熊野(色川地域振興推進委員会 蜷川氏)

・ルート紹介

川の参詣道である熊野川から御坊市まで R42（熊野古道大辺路）、R311, 168, 169（熊野古道中辺路）に沿った道を中心とする広範囲を活動エリアとし、76団体が熊野古道など豊富な地域資源を活かした地域づくりをしている。



・活動報告

大辺路再生実行委員会が、紀伊山地の霊場と参詣道である熊野古道、大辺路、中辺路、小辺路の3つの熊野古道のうち、熊野古道大辺路調査報告書を作成した。

14:30 休憩

14:40 班別意見交流及び全体意見発表（詳細は別紙。）

16:50 閉会